

平成29年度 第3回 柳川みやま在宅医療介護連携推進研修会 参加者アンケート結果

(開催日時) 平成29年9月25日(月) 19:00～20:30

(開催場所) 柳川山門医師会館 1階 講堂

○ 参加者数 : 77名(男性45名 女性32名)
○ アンケート回収数 : 67名
(回収率 : 87%)

(テーマ)

「在宅生活への支援にあたり多職種での関わり・連携を考える」

事例提供担当:柳川リハビリテーション病院 地域医療連携室 MSW 中溝 晶子

(1・2)回答者の内訳

職種	所属	病院	診療所	歯科診療所	薬局	訪問看護 ステーション	居宅介護 支援事業所	特別養護老人ホーム	行政機関 地域包括支援センター	社会福祉協議会	その他	無回答	計
医師		2	10										12
歯科医師				7									7
薬剤師		1			7								8
看護師		4				4		1					9
保健師									2				2
歯科衛生士				4								1	5
MSW/PSW等		5											5
OT・PT・ST等						1							1
ケアマネージャー							7	1					8
介護福祉士													0
民生委員									5				5
ボランティアコーディネーター										1			1
事務員									2	2			4
その他													0
計		12	10	11	7	5	7	2	9	3	0	1	67

(3)参加者の年齢区分

10代 … 0名 20代 … 2名 30代 … 13名 40代 … 11名
50代 … 19名 60代 … 11名 70代 … 3名 80代 … 1名
無回答 … 7名

(4)本日の研修会はいかがでしたか。

◎ 大変参考になった(とても) ○ 参考になった(どちらかというと) □ どちらでもない
△ あまり参考にならなかった(あまり) × 参考にならなかった(全然) (人)

		◎	○	□	△	×
1	研修の目的が明確に設定されていた。	30	31	3	2	1
2	今回の研修は、今後の業務に活かせる内容であった。	28	26	9	3	1
3	研修は分かり易い順序で進められていた。	29	23	12	2	1
4	会場は快適な環境であった。	40	18	7	1	1
5	参加人数は適切であった。	36	22	5	3	1
6	グループ討議は有意義であった。	34	25	5	2	1
7	今後も参加をしたい。	37	20	6	2	2

(5)今回の研修会に参加しての気づき・感想などを具体的にお聞かせください。(知識・行動・意識など)

【 医師 】

- ・ 各職種の方の意見はかなりスピーディで的確になっておられるようです。

- ・この場で終わらず、継続できるシステムの構築が必要。Off Job も大事だが On Jobに活用できることが重要！！
- ・生活保護者には民生委員は関与しないということ。
- ・参加メンバーが同じになっている様なので、今まで参加していない方の参加を。
- ・困難事例の支援についての議論は尽くされてきています。支援をどう拡げるか、担い手の確保などの議論をしてはいかがでしょうか。
- ・以前に比べて多少以前より多くの問題点がみられた。

【 歯科医師 】

- ・事例内容の詳細をもう少し提供して欲しい。
- ・いろんな職種の方の意見は、たいへんおもしろかった。

【 薬剤師 】

- ・実際の症例に基づいてグループワークできて、何が課題か見えてきた。業務に活かしていきたい。本人との信頼関係が必要だと実感した。
- ・今回の事例は、介護1でどれだけ支援が出来るか、生保という環境の中で、行政がどこまで出来るのか、明確でなかったので、もっと職種で何を今行っているかを教えてもらいたい。
- ・様々な意見があって、薬剤師の発想では、なかなか思いつかない意見が聞けて良かった。
- ・毎回参加しておりますが、多職種の方の意見もよく出てスムーズに進行出来た。毎回、多職種の方との連携が深まっていい研修会だと思います。
- ・職種によって視点が違う事を実感した。

【 看護師 】

- ・さまざまな意見を聞くことができて大変参考になりました。
- ・話し合うポイントをもう少しコンパクトにすると話しやすいのでは。
- ・多職種の連携の重要性は感じた。しかし、実際が伴っていないことが多い。いかに幅の広い視点で利用者を見るのが重要。
- ・多職種での意見や気づきができた。
- ・地域力について、もう少し知識を深められたと思う。民生委員さんの活動、ボランティアさんの活動実態。
- ・連携、つながりについて、それぞれの職種への理解が深まった事でアプローチしやすくなってきたと思う。
- ・他職種の意見を聞けて参考になりました。

【 歯科衛生士 】

- ・職種での着眼点の違いがあり、総合的に全体像として作り上げることは大変有意義なグループワークだと思います。少しずつ他職種の方の考え方に近づいてきたように思います。
- ・医科、歯科、介護、それぞれが支援していく事はもちろん。地域(ご近所)との信頼関係がまず大切。そこからCMを通して、いろいろな支援が広がると思います。
- ・付箋使いはいいアイデアですね。

【 MSW・PSW・PT・OT・ST 】

- ・在宅職員からの困難事例を知りたい。
- ・みなさん、あたたかい雰囲気グループワークできて良かったです♡
- ・色々な職種の方の視点が大変参考になりました。
- ・各職種の役割を知る。⇒ 連携の重要性

【 民生委員 】

- ・時間が短いのでは。スポットライトを当ててせまい部分で議論が必要では。
- ・専門的言葉が出て少しとまどいあり。でも、どうしていったらいいか少しではあるが、私にもできるのではと思いました。
- ・役割 ⇔ 役割 … 繋ぎをどうするか。
- ・多職種の皆さんとの連携で、一人の方が安心・安全の生活を送ることができることを強く望みます。

【 ケアマネージャー 】

- ・ 保険だけではなく、民生委員さん、ボランティアの方との連携を図って在宅生活を支える支援を行動もしていこうと思います。
- ・ いろいろな職種の方の意見を聞くことができてよかった。
- ・ もう少しゆっくり検討できるとよかった。民生委員の方のご意見を直接聞けたのでよかった。
- ・ グループワークの時間が足りなかったと思う。

【 事務員 】

- ・ グループディスカッションの時間がもう少し長くしてほしい。
- ・ 1グループの人数が10人を超えると中々皆に話をふれなかったのが反省点です。ただ、職種も増えるのはいろんな意見が出て中身の濃いGWになります。
- ・ 多職種の様々な意見が聞ける貴重な場なので、もうちょっと時間があればいいなと感じました。
- ・ 断片的に専門分野を支援するのではなく、課題を共有することが重要と感じた。

【 ボランティアコーディネーター 】

- ・ もう少し時間がほしかったです。

(6)全体を通してのご意見・ご感想・今後行いたい研修などございましたらご自由にご記入ください。

【 医師 】

- ・ この会の後に、意見交換会などがあるとさらにいいのかと思いました。
- ・ 症例の選択自体が問題ではないか。
- ・ 民生委員、ボランティアの方の意見は参考になる。
- ・ 回数を増やす事により、よりよい介護サービスが見えるようになった。

【 歯科医師 】

- ・ 今後とも、頑張っていきましょう。ありがたいです。宜しくお願いします。

【 薬剤師 】

- ・ 今後も参加したいと思います。
- ・ 多職種の方々と、中身をつめていくことで、他の職種の困っている所や問題点が理解できる。

【 看護師・保健師 】

- ・ もう少しグループワークの時間があればもっと深められたのではと思います。
- ・ 折角ですので、15分間早めに終了しましたが、G発表をされた方がよかったのではと思います。
- ・ 事例だけではなく何か●●で話し合っても。例えば交通とか福祉タクシー、HD患者(人工透析患者)の通院など。
- ・ 実際のケースを聞きたい。
- ・ 少し視点を絞った方が、より深まった意見になったのではないだろう。
- ・ 多職種研修プログラム・運営ガイドの中に、標準シナリオがありそれぞれ違う職種になり、ロールプレイする手法があります。P3 お互いに他の職種になりきり発言する事で、他の役割や立場が理解できるのではないのでしょうか。
(大川三猪医師会で実践中)たまには、効果があるかもしれません。

【 歯科衛生士 】

- ・ お世話になりありがとうございました。

【 MSW・PSW・PT・OT・ST 】

- ・ 7:00スタートは遅いと思います。
- ・ ありがとうございました。

【 民生委員 】

- ・ すごく積極的な方々ばかりで、いろんな点で学ばせて頂きました。
- ・ 病人にいろいろな事を学習させる。

【 ケアマネージャー 】

- ・ 多職種の方々の生の意見を聞く事が出来る貴重な機会だと感じました。
- ・ 時間があまりなかった(まとめる時間)
- ・ 他職種の視点をもう少し深く聞く時間があつたらと思います。

【 事務員 】

- ・ GWの時間、あとまとめの時間として10分は欲しい。
- ・ もう少し長い時間グループワークを行いたかった。